

災害ボランティア活動報告 (No.14)

年月日:6月1日(金)～6月2日(土)

活動場所:宮城県巨理郡山元町浅生原字作田山 32

活動内容:畑の再生(小石取や異物撤去)

活動拠点:山元町社会福祉協議会やまもと復興応援センター

参加者:メンバー木下史典・森本次郎・浅野健一・芦澤潤一・榎戸孝行・竹下萌・船木淳悟・森本嶺生、一般参加、ネット参加の皆様。(合計 34 名)

活動報告:『親子で震災ボランティア体験』in MIYAGI、ボランティアバス第3弾です。今回も助成がなく実費でしたが、節約志向で朝のビジネスホテルでの朝食やお昼の豪勢なお弁当はなく、朝は吉野家で焼き魚定食、お昼は牛鍋弁当でした。さすがにスパは外せませんでした、汗まみれで帰れませんので。

そのお陰で、参加費 5,900 円、会員 4,900 円、(会員の場合、会から 1,000 円の助成が出ています。皆様会員になって下さい。)とリーズナブルな値段で出来ました。

ボランティアですのでこれで良いのでは。社協がやっている所ではお弁当すら出ないところがあります。



(今回参加された方々の集合写真です。畑の再生作業した現場で。前列中央体の大きい木下理事長の右隣が、今回ボランティアを依頼された農家の斎藤さんです。)

今回は、1回目2回目と違い参加者が少なかったです。前回までは断らないといけない状況でしたが、震災から一年以上たち一般の関心が薄れてきたためでしょう。まだまだ支援が

必要であり、私達の頑張りどころだと思います。

行程:6月1日(金) 21:00、千葉県 JR 四街道駅出発～22:00JR 錦糸町駅経由～宮城県山元町へ。

6月2日(土) 朝6時30分地元の吉野家で朝食。その後、被災地視察。8時30分やまもと復興応援センターへ。



※吉野家での朝食



※被災地での視察、頑丈な防波堤が津波で壊されています。



※やまもと復興応援センターで VC スタッフにボランティアする際の説明を受ける。皆さん、真剣に聞き入っています。ボランティアには現在、田んぼや畑の再生をお願いしているそうです。

これからは、仮設住宅に住んでいる方々への支援の方へシフトしていくとの事です。



※応援センター前での集合写真。



※やまもと復興応援センターから車ですぐの所の畑へ行き。小石やゴミの撤去作業をする皆さん。

1 ページ目の集合写真に載っている、農家の斎藤さんは津波で家と畑全てを無くされたそうです。そのため、作業している畑を借りパブリカを栽培するそうです。

作業にも力が入ります。やはり顔の見える支援が重要だと思います。斎藤さんの生活再建の助けになればと自然と力が入るからです。

農家では共同で畑を借りる人もいますが、斎藤さんは後々考えて自力で更生を考えているとの事、頭が下がります。

山元町は人口 14,000 人の町であり、震災で 630 人以上の方々がお亡くなりになったそうです。人口に占める死亡者の人数は、市町村の中で一番大きい位なのに有名ではないので、復興は遅れているとの事。

他に話を聞いていたメンバーからも、また山元町に来ようね、との話が聞こえました。微力ではありますが、生活再建支援のため、できるだけ早く再訪したいものです。

作業が終わり、スパで汗を流してから、一路帰路へ。東京・千葉へ向かう。

皆様お疲れ様でした。そして、有難うございました。また、皆様と被災地にボランティアに行けることを願っています。